



今月の目標!

きょうど ほん よ
郷土の本を読もう

れいわ 7年 11月号



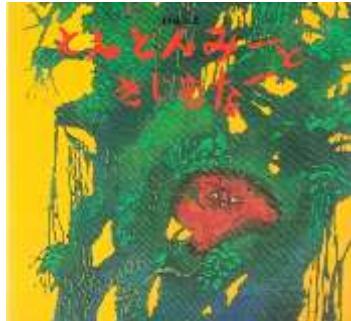
しらほ いしがき やえ やま おきなわ ほん よ 白保・石垣・八重山・沖縄の本を読んでみよう

郷土とは、生まれ育った土地、ふるさとのことです。白保っ子のみなさんにとっては白保、石垣島、八重山、沖縄が郷土になります。図書館には「郷土資料」と言って、ふるさとの歴史や文化、自然(生き物、植物、星空、など)について書かれた本や、ものがたりがたくさんあります。ぜひ読んでみてくださいね。



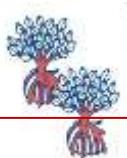
『カンムリワシ 守るべきもの石垣島の白い天使』 福田 啓人/著 雷鳥社

カンムリワシは絶滅のおそれがある特別天然記念物です。著者は石垣島でカンムリワシの幼鳥と出会い、その白い天使のような美しさに一目惚れします。羽を広げて空を飛ぶ姿や、なわばりあらそいのようす、カエルをとるところや、カラスにいたずらされる瞬間など、カンムリワシの生態がたくさんおさめられています。



『とんとんみーときじむなー』 田島 征彦/著 童心社

ちいさなしまの おかにあるガジュマルのきにすむきじむなー。よるになると、マングローブのしげみでなかよしのとんとんみーたちとあそびます。あるひ、とんとんみーたちはおとこのこにつかまってしまいます。きじむなーはおとこのこのいえにいき、しかえしをしようとしますが…きじむなーとしょうねんのすこしふしぎなものがたりです。



『沖縄さかな図鑑』 下瀬 環/著 沖縄タイムス社

沖縄県内で食べられている魚、貝、イカ、タコ、エビ、モズクなど、ほぼすべてがわかる、写真付きの図鑑です。釣りをする人、市場やスーパーでお魚屋さんで見かける魚を調べるのに役立ちます。魚の長さのはかり方、沖縄での呼び名、さまざまな漁の方法など、楽しみながら勉強になる1冊です。

『増補版 石垣島・白保サンゴの海』『SHIRaho』『小さな生きものがつくる海のパラダイス 白保のサンゴしょう』など、白保の海のことが書いてある本も白保小学校図書館にあります。貸出せます。